



自主組織名	大東地区自治振興協議会
事業名	夏休み野外体験 I N 丸子山
<p>大東地区自治振興協議会生涯学習運営委員会では、小学生を対象とした日帰りの野外キャンプを実施しました。子供たちは、大人のスタッフの指導を受けながら、テントの設営や撤去、食事の準備や片づけなどを友達と協力して取り組みました。慣れない野外生活を体験することで、決められたルールを守ること、お互いに協力すること、自然を大切にすること、親や家族、スタッフの皆さんへの感謝の気持ちを持つことなどの大切さを学んだ1日となりました。</p>	
 	

自主組織名	春殖地区振興協議会
事業名	みんな集まれ！ 赤川！ 川遊びまつり
<p>春殖交流センターでは、青年部が水辺で楽しく遊ぼうという事業を展開しています。夏休み中とあって就学前の幼児、児童と保護者など多数の参加者があります。鮎のつかみどりや発砲板渡りをやります。無事故で水に親しもうと、保護者ほか有志やセンター職員が計画準備にあたります。</p> <p>参加者全員がルールを守り、解散するまでお互いを思いやり、気持ちのいい思い出が出来れば、ふるまい向上の絶好の実習の場だと考えています。</p> <p>始まりの挨拶には運営スタッフへの感謝を喚起し、終わりは今の自分の足元のゴミを拾うことを強調しています。</p> <p>自然に美しい行動が出来るように、子どもや保護者だけの課題でなく、地域としても応援しようと交流センター内にもスローガンを掲示し、広く地域の皆様にも周知啓発に努めているところです。</p>	



自主組織名	幡屋地区振興会
事業名	新春こどもカルタ大会
<p>「かるた大会」を通じて、子供たちにふるさとの歴史や文化、旧跡などを知らせ、郷土を愛しふるさとを誇りに思う心を養う。また、あいさつに始まりあいさつで終わる等の作法を指導する。</p> <p>この大会は、毎年1月4日に開催し「大東かるた」を使用して行い今年度で27回を迎えましたが、20年度からは幡屋地区で作成した「幡屋かるた」で行っています。「幡屋かるた」の絵ふだは、当時の西小学校の幡屋出身4, 5, 6年生が原画を描いたものです。</p>	



自主組織名	佐世地区振興協議会
事業名	高齢者と小学6年生とのゲートボール交流 高齢者と小学3年生との凧作り交流 他

おもてなし・思いやりの心を育む目的で交流活動の後に茶話会を開催している。子ども達は共に活動して楽しかった思いや教えていただいた感謝の気持ちを繋いで、茶話会ではお菓子やお茶を配り、お茶を注ぎ足す等「どうぞ」の言葉を添えてもてなす実践をしている。

「どうぞ」「ありがとう」の会話が生まれ自然に笑顔になる。また子ども達から肩もみが始まり、高齢者の方々は驚きとうれしさいっぱいの表情になる。後日子ども達から高齢者の方々に手紙が届き、とても喜んでいただく。子ども達は交流活動のみでなくふるまい活動によってより“人々に喜んでいただける”ことを学んでくれたと思う。



スーパーパーおじいさん

先日のゲートボール交流は、とても楽しかったです。


ぼくはゲートボールを何回かやったことがあったけど、お年寄りのお相手は、一発がゲートを通り過ぎては今のボールにもたない。当たってはいくばりも何百倍も止まてぼくもあんまり上手に打てないです。

さんにぼくは最初にご話しかけてもらったし、あそこを打つといいと教えてくれて、アドバイスもたくさんいただきました。ありがとうございます。

最近とても寒くなりましたのでお体に気をつけてください。

ぼくはスーパーパーおじいさんです。

（おじいさん）

自主組織名	阿用地区振興協議会
事業名	三世代交流会
<p>三世代交流会は、阿用地区振興協議会の下部組織、阿用寿会と阿用小児童全員、児童の保護者の三世代が一緒になり、工芸教室を開くものです。高齢者とのふれあいを通して、高齢者への敬愛の気持ちを育てるとともに、人との関わり方を学び、コミュニケーション能力を育てることをねらいとします。児童はわら細工、竹細工、工芸、工作を高齢者から教わり、作品は遊び道具としてあるいは家庭で実用品として使えるため本気になって教わります。終了後は高齢者に感謝を込めて歌のプレゼントをしました。</p>	
	

自主組織名	久野地区振興会
事業名	「楽々ふれあいクラブ」
<p>久野幼稚園もなくなり、子供達が久野の事を知る機会が減ってきた事、自然の中にながら自然を知らない、せめて夏休みを利用していろいろな事が体験出来たらと思ひ計画しました。</p> <p>8月毎週水曜日（4回）に旧幼稚園を借りて、幼児から小学生達と、牛を見に行ったり、神社で相撲を取ったり、水辺の楽校で遊んだり、8月4日（日）内中原小3年生親子と「桃源郷」でレクレーションをしたり、8月25日（日）は島大生と久野の若者と散策、川遊び、をしました。</p>	



8月4日（日）桃源郷

松江の内中原小学校三年生親子と久野の子供達、久野の若者達との交流会川をしました。レクリエーションをして、午後は川遊びをしました。

8月25日（日）桃源郷

島大生と久野の若者達と三群山の登山道まで散策しました。一緒に（地区の皆さんが作ってくれたお昼）を食べた後は、川遊びでビショ濡れで遊んでいました。



自主組織名	海潮地区振興会
事業名	「ふるまい向上運動」の推進活動
<p>①地区においては、昨年に引き続き「あすこそは」活動のポスターを増版・配布し、幼稚園・学校・児童クラブ・うしおっ子ランド・集会所等へ掲示、うしおまつり等での申し合わせを行うなど、地域挙げた運動の実践に向け推進を図っています。</p> <p>②放課後子ども教室でもあいさつ、ことばづかい、時間を守るなどの社会ルール・マナーの向上に向け統一した指導に努めています。</p> <p>③地区PTA協議会では、竹下先生による「弁当の日」講演会を実施し、地区役員等も聴講しました。</p> <p>④家庭における「早寝、早起き、朝ごはん」「減メディア」ゲーム漬け防止活動等の生活リズム、情報モラルの取り組みも進めています。</p>	



うしお児童クラブ



「弁当の日」講演会



自主組織名	塩田地区振興会
事業名	塩田子どもプラン（放課後子ども教室）
<p>塩田小学校は平成23年春、閉校しましたが、地域の子どもは地域で育てようをモットーに地域で支援をしてきた長い長い歴史がありました。</p> <p>地域おこし協力隊にサポートしてもらい、職員会議のある日の放課後は時間に余裕がありますので交流センターに帰ってもらい、スポーツやゲーム、宿題など実施しています。</p> <p>四季折々、休日を利用してのイベント（春…山野草を食べる会・夏…キャンプ・秋…地区の祭に参加・冬…6年生を送る会〈はばたきの会〉）を保護者の協力により実施しています。</p> <p>交流センターでは「ふるまい向上運動」で、まず玄関に入って「履物を揃えましょう！」を目標に掲げていますので、まず、くつを揃えてあがる事から始まります。そして、トイレを使用した時は、スリッパを揃えて出ます。</p>	



『ふるまい向上運動』塩田地区の取り組みについて

昨今、塩田地区の各学には、後、ご来校の事とお喜びを申し上げます。卒業から、社会教育・生涯教育につなげては、ご期待、ご協力をお願い申し上げます。

さて、熊鷹がふるまい向上運動として取り組んでいるふるまい向上運動について、会場でも原の趣がなされていますが、塩田地区においても、この運動に取り組む事には、必ずしも塩田地区まで取り組みをしようと思いません。

（7月の塩田地区振興会誌でも掲載しています。）

つきましては、下記のとおり、「履物を揃えよう！」を目標に掲げたいと思います。交流センターを使用される皆様は、まず、履物についての心配り、気遣いをしたいのでお願いいたします。

塩田地区の『ふるまい向上運動』

交流センターで玄関から上がる時、
履物をきちんと揃えましょう！

交流センターの男子トイレ・女子トイレのスリッパを
きちんと揃えて出ましょう！

「ふるまい」とは、礼儀・作法・あいさつ・しぐさ・モラル・ルール・しつけ・習慣・敬語・生活行動・生活動作・思いやりの総称になります。

子どもだけでなく大人も一緒に取り組みましょう！
大人が子どもにできること、大人が率先を示しましょう！そして、あいさつや挨拶は、他人の子どもの注意を引くための重要な役割、ふるまい運動の発展に努めましょう！

子ども達もこの取り組みについて、話していきましょう！
出陣のみんなで目標できるような場所にしていきましょう！

塩田地区振興会（社会教育部）
塩田 交流センター

自主組織名	雲南市加茂交流センター運営協議会 【遊学の郷加茂子どもの居場所づくり・雲南市加茂青少年育成協議会】
事業名	子どもたちの社会貢献活動
<p>遊学の郷加茂子どもの居場所づくりで行っているチャレンジスクール（日本の心・プチミュージカル）で習得した事を、高齢者の福祉施設（加茂デイサービスセンター）に訪問し、成果を披露する。</p> <p>高齢者の方々との交流をとおして、あいさつや会話などのふるまいを身につける。高齢者の方々に元気をあげれるように頑張る。「プチミュージカル」は歌と踊りを披露し「日本の心」は抹茶のお手前を披露し皆様にお出しする。訪問後参加した子ども達から手紙が渡したいと意見があり、次のチャレンジスクールの時に作成しデイサービスに持って行った。</p>	



自主組織名	八日市地域づくりの会
事業名	交通安全・防犯親子たこづくり教室とたこあげ大会
<p>子どもたちに手づくりたこを通じて創造力の向上と、保護者や地域の人たちとの交流の中で、人とかがわり方やふれあいの大切さを感じ取ってもらいたい。</p> <p>また、交通安全協会八日市上下支部、青少年育成協議会の協力をいただきながら、今回で21回目の開催となり、たこの足に交通防犯や防犯の標語を書きいれて、地域一体で交通防犯の意識の高揚を図ることを目的としている。</p> <p>今後も地域の伝統行事をとおして、子どもたちが地域の人とより多く顔見知りになり、地域の人との交流の中から直接、あいさつやたちふるまいなどを身につける場となることを願っています。</p>	

自主組織名	三新塔あきば協議会
事業名	子ども支援活動を通してのふるまい向上／ふるまい向上研修会
<p>見守り隊活動：当地区では、37名の見守り隊員が学校の登下校時や帰宅後の子ども達を見守っている。特に朝の登校時は、通学路の数箇所で見守り隊員が立ち、朝のあいさつや交通安全の見守り活動をしている。近年、子どもたちも大きい声で朝のあいさつができるようになった。</p> <p>子どもの部屋：月2回、放課後、交流センターで子どもの部屋を開設している。スタッフ13名により宿題や遊びの見守りの他、笹巻き、凧作り、水鉄砲など伝統行事や昔の遊びを教えたりしている。その中で、子ども達には、靴揃え、あいさつ、片づけなど全員ができるよう意識を持ちながら、指導している。靴揃えは注意しなくてもできるようになった。</p> <p>体験学習：夏休み、地区内の広場で一泊二日のキャンプを昨年より実施している。今年は小学生35名、中学生2名、地域ボランティア52名の参加により、テントの設営、撤収、食事作り、川遊び、キャンプファイヤーなど班を中心に行動した。子ども達は、異学年での交友を深め、また、大人の指導を得ながら普段経験のできない活動ができた。その中、相手を思いやり、協力したり、我慢しなければならない様々な場面があり、地域の大人とも係わる中で集団マナーを身につける機会になったと思う。2日間を通し、地域の大人も「子どもを育てる」ための接し方や自分自身のふるまいについて意識する機会になった。</p> <p>ふるまい向上研修会 木次地区の4つの交流センターと木次小学校PTAの共催で「ふるまい向上」の意識醸成にむけての研修会を開催した。三新塔あきば協議会では、子育て支援事業に係わる見守り隊員や子どもの部屋スタッフ等13名、4地区全体で44名、小学校PTA約60名の参加があった。学校と校区の地域が連携し、合同で開催できたことは意義深く、また、講師の茨城大学准教授長谷川幸介氏の講演では、「学校、地域、家庭」の役割や「地域の大人が子どもを育てる」「地域の教育力」という意味を、分かりやすく説明していただき、スタッフの意識の向上を図ることができた。</p>	

キャンプ（低・中・高学年に分かれて話し合い）

長谷川幸介氏の講演会
 地域のみんで「ふるまい向上」を！
 ～子どもを支える3つの力と地域の教育力～

キャンプ（川遊び）

子どもの部屋（笹巻きづくり）

木次小学校体育館で行った4地区合同の講演会には、100名余りの参加がありました。

自主組織名	新市いきいき会
事業名	国立三瓶青少年交流の家に泊まろう
<p>1. 事業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市地区の小学校児童を対象に地域のおとなと子どもたちとの触れ合い活動を通して「地域で育てる地域の子ども」を合い言葉に子育て支援を目指す。 ・減少傾向にある地域の子どもたちが学年を越えて体験活動に取り組む中で仲間づくりを目指す。 ・集団活動を送る中で、規則正しい生活習慣やあいさつを身に付ける <p>2. 実施期日と活動場所 平成24年8月24日（水）～25日（木） / 「国立三瓶青少年交流の家」</p> <p>3. 活動内容 三瓶山登山に挑戦／アウトドアクッキング（バウムクーヘンづくり）／ナイトハイク（肝だめしと夜の自然体感）／集団宿泊体験</p> <p>4. 参加者 新市地域内小学生 16名 / 地域のボランティア 9名</p>	



三瓶山頂上にて



バウムクーヘンづくり

自主組織名	下熊谷ふれあい会
事業名	子ども獅子舞
<p>下熊谷下地区子供会では、毎年元旦に、子ども達が獅子に扮して各家を回る悪魔払いを行う伝統行事があります。今年も3年生から6年生の子ども達21人が参加し、保護者や道案内等していただくため青壮年部などの協力により盛大に実施しました。</p> <p>当日は、午前8時に交流センターに集合したのち、3班に分かれ各家庭を廻り獅子を舞いました。11時過ぎには交流センターに帰り、ココアなど温かい飲み物で体を温め、最後にお菓子や図書券を配って解散となりました。</p> <p>今年の元旦は大晦日から降った雪で足が悪く歩きにくかったのですが、スムーズに終える事が出来ました。参加された皆さん、お疲れ様でした。また、温かく迎えてくださった各家の皆さま、ありがとうございました。</p>	



自主組織名	斐伊地域づくり協議会
事業名	中学生の地域行事への参加
<p>生徒が自分を好きになり、自分に自信をもち、進んで他と関わるようになるとき、自然とふるまいも意欲的になり、向上していくと考える。</p> <p>斐伊地域づくり協議会では、そうした思いを込め、中学生に地域行事への参加を呼び掛けている。一つが斐伊七夕祭りの後片付け、いま一つが地区民体育大会の役員としての活動である。いずれも、一人前の大人としての参加であり、関係者から喜ばれ評価されている。地域の中に入り込み、地域の大人と共に働き、地域から感謝され評価されることが、長い目で見たとき、本人の自信、自己肯定感につながると考える。</p>	




地区の体育大会：役員として活躍



自主組織名	地域自主組織 日登の郷
事業名	単身高齢者に手作り「年越しそば」の配食と声かけ事業
<p>平成 24 年 12 月 25 日に子供たち 50 人と日登の郷役員や福祉委員の皆さんが参加し、手作りの年越しそば打ちをした。打ちたての手作りそばは、日登地域内に住む 35 人の単身高齢者の皆さんに「良い年が来るように」と、子供たちが声をかけながら、一軒一軒配って歩いた。また、元気に長生きをしてほしいというメッセージや日頃、見守り隊でお世話になっている感謝の言葉などを書いた色紙も送った。配り終えて、子供たちに感想を発表してもらった。「喜んでもらえた。」「感謝された。」「人のために役に立つことができよかった。」など、一人一人が体験した喜びを話した。</p> <p>この活動を通して、子供たちに「人にやさしくする。」「日頃やさしくしてもらっていることに感謝し、何かお手伝いをする。」「自分が生かされていることに気が付く」など心を育てると共に、「人は一人では生きられない、皆のお蔭で生きている」ことを学ぶ活動にした。</p>	



自主組織名	西日登振興会
事業名	愛の共育講演会
<p>西日登振興会青少年育成会議では、西日登地区の幼稚園、小学校、中学校のPTAと連携をとりながら、平成元年からこの「愛の共育講演会」を年1回行っている。全ての教育の出発点は家庭の教育であり、子どもの人間形成の基礎を培うだけに、親も子どもと共に学び、育ち、向上することを目的としている。また、「地域で子育て」を合言葉に、PTA以外の地域の皆さんにも参加していただき、学校、家庭、地域が同じ目標をもって将来の西日登を担う子ども達を育てていく。</p>	
	

自主組織名	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」
事業名	温泉こどもフォトコンテスト
<p>温泉小学校児童を対象に使い捨てカメラを貸与し、撮影してもらい、写真の展示や特別賞の選定・表彰を行います。</p> <p>ダム建設を始めとした移り行く温泉地区の風景を、写真という媒体を通して長く記録にとどめるとともに、活動に当たっては他人に迷惑を掛けないように心掛け、地域の人たちを写す時には「写させてください」、終わったら「ありがとうございました」とあいさつをすることなどの礼儀を身につけます。</p> <p>平成24年度は全校児童12人から436点の作品が寄せられ、その中から5点の特別賞を選定し、11月24日に開催した温泉ふるさと祭りの会場で表彰を行いました。</p>	



自主組織名	三刀屋地区まちづくり協議会
事業名	わくわく通学合宿
<p>共通の生活体験や直接体験を通して、児童の基本的な生活習慣や規範意識・責任感などを育むとともに、自主性や自立性を養い、学習意欲やコミュニケーション能力の育成向上を図り、併せて地域や支援ボランティアとのふれあいをとおして、異世代間交流を深める効果を期待し、11月25日(日)～28日(水)まで、三刀屋小学校5～6年生を対象に「わくわく通学合宿」を三刀屋交流センターにおいて開催しました。</p> <p>雲南市教育委員会の後援をいただき、親元を離れて宿泊体験(集団生活)をしました。炊事、清掃を自分たちで計画し協力して行いました。家庭と同じような日常生活を自分ですることに重点を置き、自ら考え、判断し、行動する生活をしました。</p>	



自主組織名	一宮自主連合会
事業名	古代米づくり
<p>日本人本来の主食である米づくりを通じて、地域の人達とのいろいろな場面でのふれあいを体験。三刀屋小学校5年生62名と松本古墳を考える会の会員25名の指導で古代米(赤米)づくり。5月種まき、6月田植え、10月よりない、稲刈り、脱穀、11月収穫祭。一連の作業のなかで、叱ったり、ほめたりの繰り返し。子どもたちも色々なことを感じ取ったと思う。収穫祭では古代米を使って、色々な種類の料理を子どもたちが作ってふるまってくれた。</p>	



田植え



よりない



稲刈り



稲ハデ



収穫祭





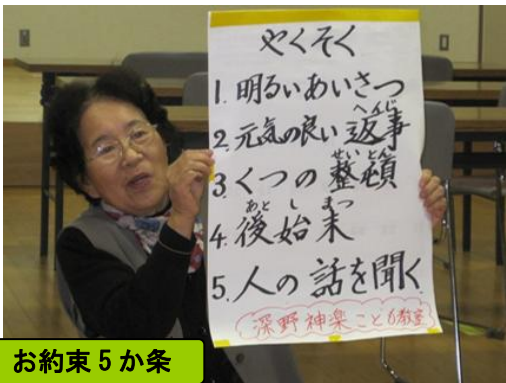



全員で食事

自主組織名	雲見の里いいし
事業名	スポーツ健康推進事業—第43回飯石地区ふるさと運動会—
<p>43回という歴史ある地区内の運動会において、2年前より地域ぐるみでのふるまい向上運動を取り入れている。本来の目的は、地区民のスポーツ推進とともに交流活動を通じて地域の活性化を図ることであるが、飯石小ふるまい向上20ヶ条の中から、5チームの今日のふるまいを子供達が選び、横断幕を掲げての入場行進や各チーム応援席への張出しを行い、大人も子供もふるまい向上を意識しての一日を過ごす。</p> <p>雲見の里いいしでは、ふるまい向上は単体で事業化するのではなく日常の中で地域ぐるみで意識していくことを目指しており、小学校行事はもちろんのこと各事業でも、子供を中心に意識付けが行われている。そのことにより、事業振返りのときに自然とふるまい向上についての意見や反省点があがってくるのが大きな成果だと思ふ。(横断幕は校長先生作)</p>	
	
<p>平成24年度ふるさと運動会にて、各チームとも子ども達が決めた今日のふるまい標語を掲げての入場行進</p>	

自主組織名	躍動と安らぎの里づくり鍋山
事業名	鍋山放課後子ども教室
<p>① 地域社会における子供達の学びの機会（地域住民との触れ合い）を提供し、世代間の交流も深める</p> <p>② 地域（躍動鍋山、スタッフ会）が協力し、放課後における子供達の安全・安心の居場所をつくる</p> <p>③ 放課後活動を通じて、子供達に一定のマナーや礼儀・敬いの心が育つ場として運営する</p> <p>④ 開設日は火、水、木、金とし、「宿題をする」「挨拶をする・履物を揃える」など、5か条の約束を決めて対応している</p> <p>⑤ 「夏休み中の室外への小旅行教室」、「クリスマス会」、「ありがとう・振り返りの会」等には、幼稚園児や教室外の児童にも参加を呼びかけ、子供達の交流の輪も広げている</p>	
	


自主組織名	中野の里づくり委員会
事業名	ふるまい向上プロジェクト事業「第3回 あおぞら教室」
<p>野外学習、団体行動におけるルールの体得及び言葉遣い、気遣いを通じて協調性を養い、高学年の生徒が低学年の生徒の面倒をみながら、また地域の大人の方々と協力しながら遊んだり、創意工夫してものづくりを楽しむ中で、ふるまいを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野外体験活動（魚釣り、川遊び） ・ 創作教室（牛乳パックを使った工作） 紙ヒコーキ大会 ・ 昼食、夕食作り、片付け <p>中野地区の子どもたちのあいさつは、元気よく、他に類をみないほど立派です。それと共に地域住民とのふるまいに対する意識も高まっています。</p>	
   	

自主組織名	吉田地区振興協議会
事業名	放課後子ども教室推進事業
<p>放課後、児童が安心・安全に過ごせる居場所として吉田交流センターを提供し、見守りスタッフさんやセンターを訪れる地域の方たちとふれあい、交流するなかで、『あいさつをする』や『くつをそろえる』などの行動が自然にふるまえるよう身につけていくことを目的にしています。</p>	
	
<p>やくそく① まず参加者名簿に名前を ていねいに書きます。</p>	<p>やくそく② ともだちとなかよく遊び ます。</p>

自主組織名	田井地区振興協議会
事業名	深野神楽こども教室
<p>教室の目標：①明るい挨拶 ②元気のよい返事 ③靴の整頓 ④後始末 ⑤人の話を聞く。 公演活動を通じ、こども達は『認められ、自信と誇りを持ち行動できる』ようになってきた。 挨拶、返事、整理整頓、思いやりある行動等、よいふるまいが身につく、友達にも広がりを見せると同時にこどもたちの舞や笛・ふるまいに、指導する大人も良い影響を受けている。 今後は、子ども教室中だけでなく、『いつでも』『どこでも』『誰とでも』望ましいふるまいができるこどもへ育ってほしい。家庭・学校・地域と協力し、『地域住民みんなで向上』をスローガンに取り組んでいきたい。</p>	
 <p>お約束 5 か条</p>	 <p>環境・リサイクル活動へ参加</p>
 <p>くつそろえ</p>	 <p>終わったら衣装をたたむ</p>

自主組織名	掛合自治振興会・松笠交流センター
事業名	通学合宿
<p>実体験の中での「生きる力」、集団生活の中で「忍耐力」、体験を通して「感謝」の3つを目標に位置づけ、4年生を対象として初めての通学合宿を行いました。同い年だけにチームワークも良く全てが時間に余裕を残し行動が出来ました。スタッフの方がどのように子ども達に接したらいいか、ずいぶん悩んだりもしましたが、5泊6日の合宿もあっというまに終わってしまいました。</p> <p>一方で、最初の合宿でもあり、課題が残りました。</p> <p>①全行程を大人だけで計画して、子ども達をそのレールに沿って動かしてしまっていたのではないか。 ②スタッフはセンター長、主事、福祉・学校関係者となり、地域の方々とつながりがなかったこと。 ③保護者の説明が不十分であったこと。</p> <p>計画するに当たって、十分に時間を設け計画を立てる事が必要である事が大事であると思いました。最終日の「さえずりの森」での体験も子ども達にとって良い思い出になりました。</p>	
	

自主組織名	多根の郷
事業名	子育て支援交流会
<p>6月30日に就学前の子どもさんがおられる親さん同士の交流会を開催しました。日頃子育てで思っておられる事や悩みなどを保育所の先生を交えて気軽に話し合ってもらいました。アドバイスをもらったり体験談を話したりとても有意義な時間でした。同じ地区にいても会う機会が少ない親さんにとっては情報交換の場として、又、息抜きの場として今後も継続していきたいと思ます</p>	
	

自主組織名	波多コミュニティ協議会
事業名	中学3年生通学合宿“ふるさと思い出づくり 虫の音に誘われて”
<p>ねらい：小学生通学合宿での生活体験はもとより、高校生活を前に自分自身が責任を持って自ら行動し、さらに「地域の人々のどのような関わりによって自分達が育まれてきたか」を知る。 中学校生活の最後に、離れ離れになる友達との友情を深める。</p> <p>概要：4泊5日、自ら食事の用意、洗濯、掃除などをし、学校に通学する。 地域の産業（温泉入浴、押し花作品づくり、天体観測、ゴルフ場、）を活用し、体験する。</p>	
	

自主組織名	入間コミュニティ協議会
事業名	入間・波多地区小学校通学合宿
<p>目的 ①実体験の中で、自分で考え、判断し、自分で行動することにより自主的に生きようとする力を育てる。（生きる力） ②集団生活の中で、友達と協力し、友達の良いところを知るとともに、自分の役割を進んで果たしていくことで、自らの存在感を高め喜びを味わう。（忍耐力） ③体験を通して、日常生活での多くの苦勞を知り、家族や周りの方に平素お世話になっている事への感謝の気持ちを育てる。（感謝）</p> <p>対象者 掛合小学校波多地区・入間地区児童</p> <p>概要 ①5泊6日間親元を離れて集団生活をする。 ②家庭と同じような日常生活を自分ですることに重点を置く。炊事・洗濯・掃除を自分たちで計画し、協力して行う。学校から帰館後の生活は自主的に行う。</p>	

